



もっと良い未来へ!

2024年 2月号

立憲民主党大分県総支部連合会 広報局発行

〒870-0029 大分市高砂町4-20 高砂ビル401

E-mail: oita-kenren@rikken-oita.com

TEL: 097 (535) 8067 FAX: 097 (535) 8097

URL: <https://rikken-oita.com/>

この立憲おおいた機関誌は県連HPにも掲載しています

新型コロナウイルス感染症がようやく落ち着きはじめ、久しぶりに通常の新年を迎えられると思っていた矢先に、元日に能登半島地震が発生し多数の犠牲者や安否不明者、負傷者、家屋の倒壊や火災等多くの被害が生まれました。県連として、お亡くなりになった方々にお悔やみ申し上げるとともに、被災された方々へお見舞いと早期の復旧復興を御祈念いたします。

また、災害の恐ろしさを痛感する中で、県民の安心安全確保のため、国や県、そして各自治体へしっかりと働きかけていきたいと立憲民主党大分県総支部連合会は考えています。

宮崎県連との意見交換会を開催

本年1月21日(日)に立憲民主党宮崎県総支部連合会の役員の方々が来県され、大分県連と意見交換会を行いました。

これは昨年暮れに吉川はじめ・大分県連代表代行と宮崎1区選出の衆議院議員の渡辺 創・宮崎県連代表が「隣同士の県連で情報交換を行っていこう」と発案したものです。残念ながら、立憲民主党では未だ九州ブロックが組織されておらず、これまで県をまたいでの交流はできていません。

今回、来県されたのは渡辺代表の他、代表代行の満行潤一・元県議、幹事長の岩切達哉県議、政調会長の松本哲也県議、青年委員長の水山敏郎県議、事務局長の広瀬素奈さんの7名。大分県連側は吉田代表、吉川代表代行、守永・高橋・吉村・御手洗副代表、原田幹事長、松島事務局長の8名でお迎えしました。

意見交流会では、組織強化と地域課題について多くの意見が出されました。

宮崎県連では党員・協力党員が計1,000名を超しているそうです。大分県連はその4分の1程度ですから、その組織力に驚かされました。「それぞれの議員には後援会があると思いますが、同様に立憲民主党の後援会というような位置づけで入党していただくようにして拡大していきます」とのことでした。

立憲民主党大分県連定期大会に参加を!

2024年立憲大分県連定期大会を下記の通り開催します。2023年の総括とこれからの運動方針を決める大切な大会です。多くの方々の参加をお願いします。

日時: 2024年 3月 3日(日) 13時~ 場所: 大分県教育会館 大ホール

車は会館下の駐車場に駐車してください 大分市下郡 496-38 TEL: 097-556-6411

その一方、国政において裏金問題など「政治と金」問題が報道され、国民の政治不信を募らせている状況です。自民党の派閥の領主たちは、「派閥を解消し政策集団とする」としていますが、そもそも派閥が政策集団ではなく「金と人事」のためのものであったことをあらためて宣言しているようなものです。

「法律を作る国会議員が法律を守っていない」ことに国民が怒っていることを全く理解していない政党に国の未来を託すことはできません。

今こそ政治に無関心にならず、国民一人ひとりのための政治を取り戻すことが必要です。立憲民主党大分県総支部連合会は、県内の動きの先頭に立って取り組んでいくことを皆さん方に誓います。

~宮崎県連のみなさん、ありがとうございました~

宮崎県連は国会議員1名、県議会議員4名、市議会議員12名ですから、大分県連とほぼ同水準の所属議員という中での組織拡大です。大分県連にとって大きな示唆でした。



左側が宮崎県連の方々 (2024.1.21)

また、大分ではこれから取り組もうとしている立憲ミーティングも定期的開催しているという行動力にも学ぶところが多かったです。

地域課題については、東九州新幹線などの話が出ました。大分県内でも日豊線だけでなく久大線ルート、さらには豊予海峡ルートも議論されていますが、宮崎県でもこれまでの大分からのルートの他に、熊本からのルートも話題となっていると言われていました。しかしながら、新幹線よりも地域公共交通の確保が大事ではないかという点で参加者の意見が一致しました。

さらに場所を移しての懇親会でも、たくさんのお話ができて有意義な会となりました。

後日談をひとつ..

後日、宮崎県と大分県の交流会を知った九州内の他県の役員から、「次はうちの県も参加を」という話がありました。これが九州ブロックの出発のきっかけとなるかも..

